

協伸商会穀物レポート [KKR] Vol. 008

(2018/19年度 USDA 米国農務省 3月8日発表)

[ハイライト]

①前月と比べ、各穀物全体の需給関係には大きな変動はなく荷動きも低調なことから相場は小麦を中心に下落基調。②3月に入り中国の米国産大豆成約発表(8日664千ト 11日926千ト)はあったが、3月1日交渉期限の米中貿易協議は継続状態にあり知的財産/技術移転問題が重く決着の見通しは見えない。一方、相場下落により政府は大豆農家中心に総額\$120億の支援策を実施した。③BRA大豆は早魃により減産となったが早期収穫の2月中国向輸出量は6.1百万ト(前年比倍増)となりサントス港等に船舶が集中している。④総体的な穀物/大豆貿易量は、10/11⇒18/19比430⇒579百万ト(135%)と激増しているが、ドライバルク船舶需給は08年リーマンショック以降過剰傾向にある。(BDI/629 FEB)⑤また配合飼料生産は昨年全世界計10億ト記録したが、蛋白質原料が価格/量の変動激しい魚粉等動物性⇒大豆/菜種粕等植物性への移行が進み両作物の生産/貿易量増加に繋がっている。⑥世界は近年蛋白原料争奪戦の様相もあるが、因みに菜種生産は95年34.2⇒18年70.2百万トと倍増。その意味で最大産地カナダに全農が穀物輸出基地建設(21年稼働予定/バンクーバー近郊/貯蔵7万ト/年400万ト計画)を発表したことは注目される。

1、世界穀物需給の概要(大豆除く)

- ① 生産量：2,606百万ト(前年比▲0.3%、前月比0.1%増)
- ② 消費量：2,640百万ト(前年比1.6%増、前月比▲0.1%)
- ③ 貿易量：425百万ト(前年比3.2%増、前月比▲0.5%)

2、とうもろこし

- ① 生産量：1,101百万ト(前年比2.3%増、前月比0.1%増)
- ② 消費量：1,134百万ト(前年比4.4%増、前月比0.3%増)
- ③ 貿易量：167百万ト(前年比13.9%増、前月比▲0.2%)
- ④ 概況：生産はARGの増産等もあり11億ト確保。消費はUSのエタノール向け使用量が減少するも中国の内需強く増加。貿易量は順調に拡大。価格は\$3.64/Bu(前年\$3.77/Bu、前月\$3.78/Bu)と前月比¢14下落した。

3、小麦

- ① 生産量：733百万ト(前年比▲3.9%、前月比▲0.2%)
- ② 消費量：742百万ト(前年比▲0.3%、前月比▲0.7%)
- ③ 貿易量：179百万ト(前年比▲1.3%、前月比0.1%増)
- ④ 概況：生産は、東欧地域早魃の為減少。消費もインドで下方修正され減少。貿易はUS産がEU産との競合の為下方修正され全体微減。価格は\$4.54/Bu(前年\$4.92/Bu、前月\$5.24/Bu)と前月比¢70下落した。

4、大豆

- ① 生産量：360百万ト(前年比5.8%増、前月比▲0.3%)
- ② 消費量：348万ト(前年比3.1%増、前月比▲0.3%)
- ③ 貿易量：154百万ト(前年比0.8%増、前月比▲0.1%)
- ④ 概況：生産/消費ともBRA/ARGが増加し前年比順調に拡大。貿易量は、中国の政策的搾油量削減⇒US産輸入抑制から全体では前年並みとなった。価格は\$8.99/Bu(前年\$10.61/Bu、前月\$9.18/Bu)と前月比¢19下落した。

世界の穀物・大豆等の需給

2019年3月8日
米国農務省発表：単位100万トン

主要穀物世界の需給						
	生産量	総供給量	貿易量	総使用量	期末在庫量	
全穀物	2016/17	2,662	3,398	429	2,603	796
	2017/18	2,615	3,411	412	2,599	813
	2018/19	2,603	3,415	427	2,643	772
小麦	2016/17	2,606	3,419	425	2,640	779
	2017/18	2,606	3,419	425	2,640	779
	2018/19	2,606	3,419	425	2,640	779
粗粒穀物 (とうもろこし等) 注1	2016/17	756	1,001	183	740	261
	2017/18	763	1,024	181	744	280
	2018/19	735	1,015	179	747	268
大豆	2016/17	733	1,013	179	742	271
	2017/18	735	1,015	179	747	268
	2018/19	735	1,015	179	747	268
2018/19	361	459	154	352	107	
2018/19	360	459	154	351	107	

世界のとうもろこし需給							
	期首在庫	生産量	輸入量	国内計	輸出量	期末在庫量	
世界計	2月	340.81	1,099.61	159.71	1,130.64	167.36	309.78
	3月	341.16	1,101.16	160.81	1,133.79	166.96	308.53
アメリカ	2月	54.37	366.29	1.02	315.36	62.23	44.08
	3月	54.37	366.29	1.02	314.72	60.33	46.62
ブルゲンチン	2月	3.88	46.00	0.01	13.80	29.00	7.08
	3月	4.58	46.00	0.01	13.80	30.00	6.78
ブラジル	2月	8.02	94.50	1.00	66.50	29.00	8.02
	3月	7.12	94.50	1.00	66.50	29.00	7.12
EU	2月	9.86	60.72	21.00	83.20	1.50	6.88
	3月	9.86	60.88	21.50	84.00	1.50	6.74
日本	2月	1.39	0.00	15.50	15.50	0.00	1.40
	3月	1.39	0.00	15.50	15.50	0.00	1.40
中国	2月	222.53	257.33	5.00	277.00	0.05	207.81
	3月	222.53	257.33	5.00	280.00	0.05	204.81
インド	2月	2.52	51.80	0.45	19.89	32.25	2.63
	3月	2.52	52.07	0.45	19.48	32.75	2.81

世界の大豆需給							
	期首在庫	生産量	輸入量	国内計	輸出量	期末在庫量	
世界計	2月	98.09	360.99	151.42	349.44	154.36	106.72
	3月	98.56	360.08	151.22	348.49	154.20	107.17
アメリカ	2月	11.92	123.66	0.54	60.34	51.03	24.76
	3月	11.92	123.66	0.54	60.61	51.03	24.49
ブルゲンチン	2月	24.90	55.00	5.35	49.40	6.30	29.55
	3月	24.90	55.00	5.35	49.20	6.30	29.75
ブラジル	2月	31.53	117.00	0.25	45.05	79.50	24.23
	3月	31.53	116.50	0.25	45.05	79.50	23.73
中国	2月	23.52	15.90	88.00	106.10	0.10	21.22
	3月	23.52	15.90	88.00	105.10	0.10	22.22
EU	2月	1.53	2.70	15.80	18.25	0.28	1.50
	3月	1.48	2.70	15.80	18.30	0.13	1.55
日本	2月	0.22	0.26	3.30	2.35	0.00	0.26
	3月	0.24	0.26	3.30	3.52	0.00	0.28

世界の小麦需給							
	期首在庫	生産量	輸入量	国内計	輸出量	期末在庫量	
世界計	2月	280.02	734.75	176.24	747.23	178.67	267.53
	3月	279.61	733.00	176.53	742.09	178.91	270.53
アメリカ	2月	29.91	51.29	3.81	30.29	27.22	27.50
	3月	29.91	51.29	3.95	30.16	26.26	28.72
ブルゲンチン	2月	0.94	19.20	0.01	5.65	14.00	0.50
	3月	0.94	19.50	0.01	5.65	14.20	0.60
オーストラリア	2月	5.87	17.00	0.15	9.00	10.00	4.02
	3月	5.87	17.30	0.15	9.20	10.00	4.12
カナダ	2月	6.18	31.80	0.45	9.30	24.00	5.13
	3月	5.92	31.80	0.45	9.30	24.00	4.87
EU	2月	14.13	137.60	6.50	125.00	22.00	11.23
	3月	14.13	137.60	6.20	124.50	23.00	10.43
中国	2月	131.26	131.43	3.50	125.00	1.20	139.99
	3月	131.26	131.43	3.50	125.00	1.20	139.99
インド	2月	13.20	99.70	0.20	98.00	0.50	14.60
	3月	13.20	99.70	0.10	95.00	0.50	17.50
ロシア	2月	11.87	71.60	0.50	40.50	37.00	6.47
	3月	11.87	71.69	0.50	40.50	37.00	6.55
ウクライナ	2月	1.24	25.00	0.03	8.70	16.50	1.06
	3月	1.24	25.00	0.06	8.70	16.50	1.10

脚注1：粗粒穀物はとうもろこし、ライロ、大麦、燕麥、ライ麦等の計で約80%がとうもろこしである。
脚注2：年度は穀物年度。地域・作物により異なる。例：アメリカ産とうもろこし、大豆：9月～8月。